

2017年度 特定非営利活動法人さがみはら市民会議 事業報告書

第1 総括

2017年度は、サポートセンターの運営再受託6期目の1年目であった。センターの運営については、センター長の退職もあったのが残念であったが、業務については、スタッフの創意工夫が発揮されて、問題もなく運営ができたと思自負している。また、本年は、副代表も決まり継続的に当法人を運営していく目処ができたと思われる。

第2 事業報告

特定非営利活動に係る事業

1 NPOへのマネージメント研修・講習活動

本年度は該当事業なし

2 各分野のNPO活動の連携をめざした交流活動

1) 相模原・町田大学地域コンソーシアム

当法人も法人会員として活動に参加した。

3 NPOに関する分野を横断した政策提言活動

1) 地域ポータルサイトの構築

2010年度に立ち上げたプロジェクトの第8年度目を遂行した。民間3団体と相模原市との協働事業として「相模原市コミュニティサイト運営プロジェクト」を実施してきた。主な事業成果は下記の通りであった。

① ポータルサイトのコンテンツの充実

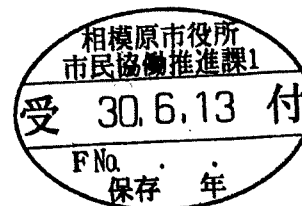
初年度に出来上がった構成の詳細にわたって、内容の充実を図った。現在のサイトには以下の内容が含まれている。

- ・団体ホームページ（102件。当年度は9団体増加となった。）
- ・コミュニティサイト（各種自由なコミュニティが構築できるようになっており、今年度は増加なく、現在38件のコミュニティが作られているが、活発な状況ではない。
- ・日記コーナー
- ・みんなの掲示板
- ・相模原市からのお知らせ
- ・関連リンク集
- ・市関連のブログの掲載……中央区フォトニュース、中央区交通安全・防犯実施レポート（中央区分は新規対応）、中学校給食、博物館職員ブログ、地域の情報ブログ
- ・自治会がいらんばんの掲載……地域情報誌のネット版のバナーリンクをポータルサイトに設置している。
- ・こみかるきつず相模原、たすかるバンク、市民カメラマン、いきいきシニア応援サイト、家庭ゴミ分別サイト、さがみはらシティセールス、いい～さがみはらなどのバナー、さがみはらまち・みどり公社を設置し、情報収集の利便性を図っている。
- ・市内のマスコットキャラクターの大辞典のアップロードに続き、さがみはらの花めぐりを新たに設置した。
- ・市民団体が作成している紙による団体紹介リーフレットを紹介するコーナーを開始することとし、さぼせんナへのPRチラシの同封を行い、5件がアップできた。

② 投稿編集会議

- ・ポータルサイトを支えてくれるサポーターが集まり、投稿の企画を行う会議を6回開催した。

③ 市民への広報活動、利用促進活動



・団体ホームページコーナーの利用促進と内容改善のために、構築と更新についての説明会を9回開催した。延べ参加者数は38名となった。

9月5日、8日、3月9日、13日 HP新規制作講座……23名

8月23日、29日、31日、2月11日、17日、HP更新講座……15名参加

④ システムの改善

・トップページをスマホ対応のWordPressに変更した。新規に制作された団体ホームページもスマホ対応版になっている。

・相模原市のサイトとリンクしているが、市のURLが変更になり、再度リンク作業を行う必要があり、作業を順次進めた。トップページからダイレクトに飛ぶサイトを優先して作業した。

・市内のレストランノーチェに設置したライブカメラは電源が切れることもあったが、ほぼ年間を通して稼働できた。ただし、2、3月は店舗改装のためOFFとなった。

⑤ サイトに対するアクセス数の指標としての、ページビュー数(全何ページが閲覧されたか)は、2015年度1年間で222,679件、2016年度で328,462件、2017年度で493,183件となり、順調に伸びてきている。これはここ数年のコンテンツの充実の効果がでけるものと考えられる。

2) 企業・NPO・大学 パートナシップミーティングin県央 の開催
サポートセンター事業報告書記載のとおり

4 市民へのNPOに関する広報、情報収集と発信活動

1) 会報の発行

本年度は会報を発行しなかった。

2) 市民桜まつりへの参加

本年は、日曜日に参加いたしました。

3) ホームページによる広報活動

2016年度事業報告と決算報告をアップして更新しました。

4) さがみはら市民活動フェスタの参加

本年は団体としては参加しなかった。

5) FMさがみ「竹中通義モーニングワイド“市民活動 hot リポート”での団体紹介
サポートセンター事業報告書記載のとおり

5. さがみはら市民活動サポートセンターの管理運営事業

別紙「さがみはら市民活動サポートセンターの管理運営事業」事業報告の通り

6 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 組織拡大活動

本年度の新入会員は、0名です。

以 上

2017年度 さがみはら市民活動サポートセンター事業報告書

2018年3月31日

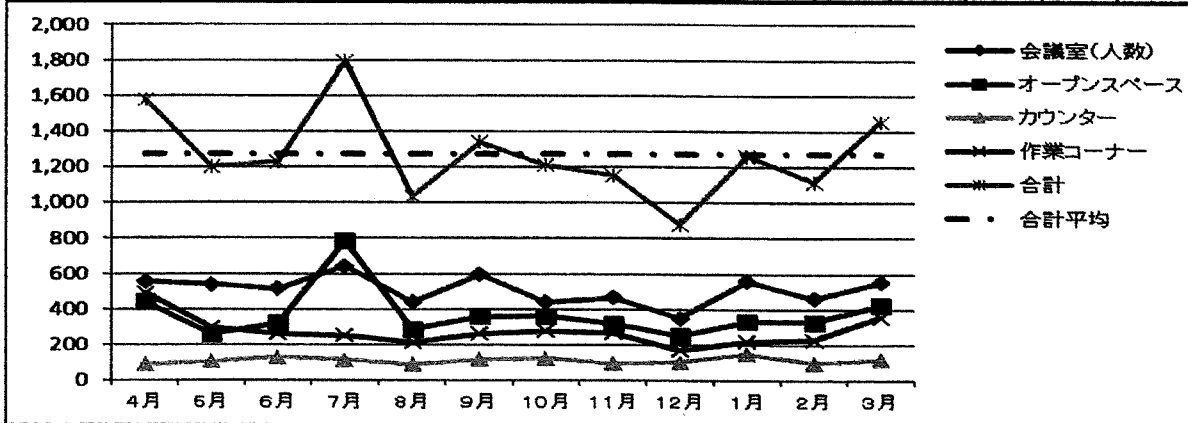
1. 事業報告

1) 会議室、作業スペースなどの提供に関すること

考察：今年度から毎月曜が休館日となり、利用者へのサービス低下を危惧しながらの運営であった。これまでの月曜利用者は概ね火・水・木に分散していることが見て取れるが、総利用者数はやはり減少傾向となった。時間帯では午前に比べ午後の利用者数が減少している。これに対して、相談件数は大幅に増加しており年間300件を大きく上回った。

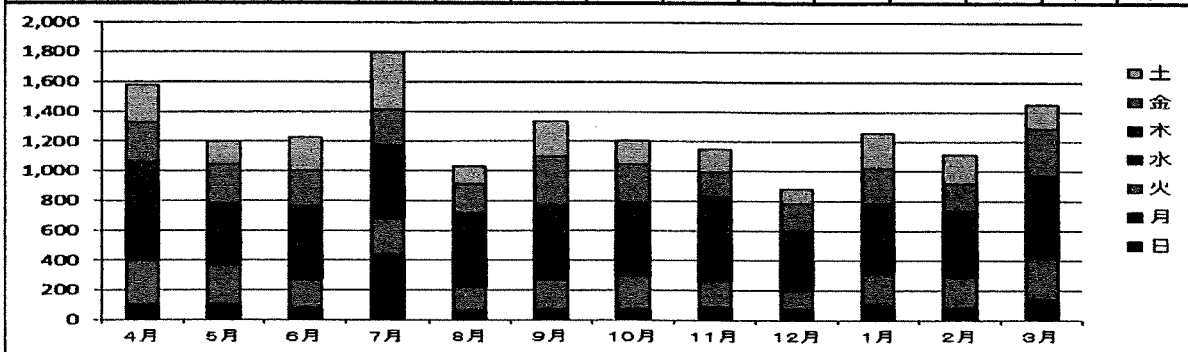
1. 利用者数

平成29年度	H29										H30			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
会議室(人数)	557	539	515	643	440	598	442	468	352	559	461	555	6,129	
オープンスペース	440	260	321	786	288	361	362	320	252	334	330	425	4,479	
カウンター	90	107	130	114	91	117	126	96	105	149	98	118	1,341	
作業コーナー	493	297	264	252	215	263	280	269	171	219	227	356	3,306	
合計	1,580	1,203	1,230	1,795	1,034	1,339	1,210	1,153	880	1,261	1,116	1,454	15,255	

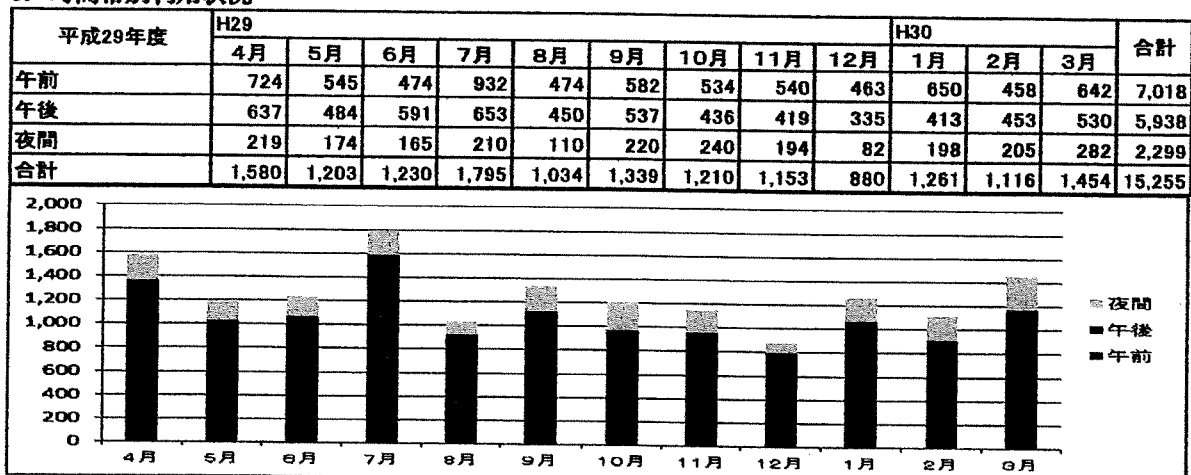


2. 曜日別利用状況

平成29年度	H29									H30			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
日	102	104	78	439	60	70	69	84	72	104	81	140	1,403
月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火	300	261	194	242	160	203	229	176	127	212	211	276	2,591
水	298	212	198	216	191	212	220	261	198	191	180	173	2,550
木	360	204	294	274	301	285	269	304	200	270	261	383	3,405
金	268	264	236	241	203	330	262	169	185	247	187	318	2,910
土	252	158	230	383	119	239	161	159	98	237	196	164	2,396
合計	1,580	1,203	1,230	1,795	1,034	1,339	1,210	1,153	880	1,261	1,116	1,454	15,255

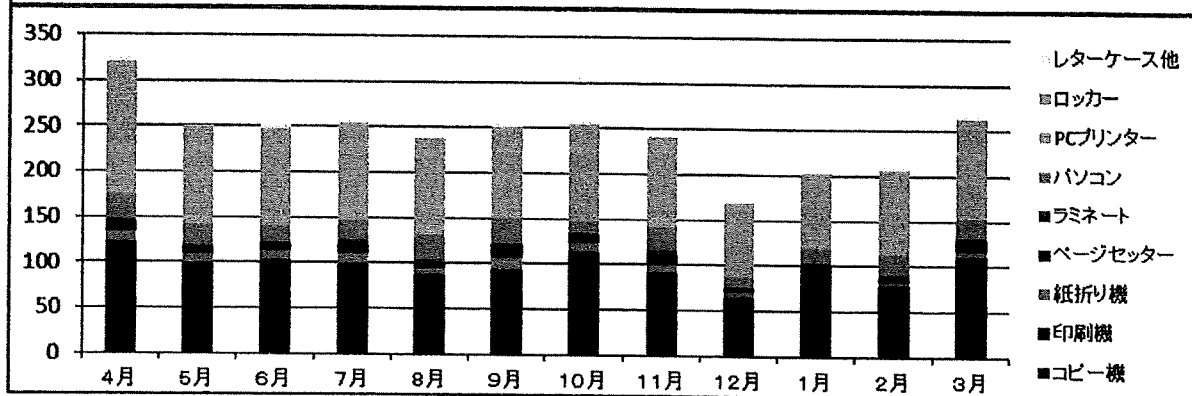
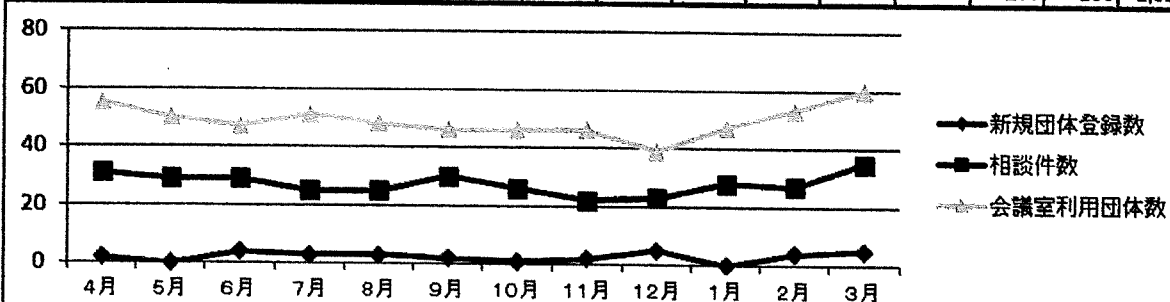


3. 時間帯別利用状況



4. 各種利用件数

平成29年度		H29										H30			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
新規団体登録数		2	0	4	3	3	2	1	2	5	0	4	5	31	
相談件数		31	29	29	25	25	30	26	22	23	28	27	35	330	
会議室利用団体数		55	50	47	51	48	46	46	46	39	47	53	60	588	
設置機器	コピー機	35	24	31	33	20	28	33	20	15	23	18	22	302	
	印刷機	87	75	72	66	67	66	81	71	49	68	61	89	852	
	紙折り機	12	10	11	12	8	13	10	10	7	2	4	6	105	
	ページセッター	10	8	7	9	6	14	9	10	4	7	3	13	100	
	ラミネート	3	1	2	5	3	1	1	5	1	3	4	2	31	
	パソコン	28	24	17	22	28	29	13	26	11	17	24	21	260	
	PCプリンター	8	9	12	13	10	6	3	11	6	8	8	5	99	
	ロッカー	137	98	96	94	95	94	105	88	76	75	85	105	1,148	
	レターケース他	5	1	4	3	2	4	3	0	1	2	4	3	32	
合計		325	250	252	257	239	255	258	241	170	205	211	266	2,929	



2) 市民活動団体等の紹介や相談等への回答・助言に関すること

1. ボランティア情報誌『笑顔』の発行(4回目発行)《市民会議支援》

目的：ボランティアに興味のある市民やボランティア希望者に迅速かつ的確な情報提供を行う

掲載団体：75団体(前回66団体)

発行部数：1500部発行

配布先：登録団体、市内NPO法人、たすかるバンク人材登録者、公民館等公共施設、
相模原・町田市内の大学、県内中間支援施設、講座・イベント参加者、窓口配布 他
4月15日発行の「さばせんナウ」に同封

2. 市民活動全般に関する相談業務

相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 設立	0	0	0	0	2	4	0	1	0	1	1	3	12
2 人材	0	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	6
3 広報	5	2	2	5	2	3	6	2	2	3	7	2	41
4 交流	1	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	6
5 企画	1	0	3	1	3	1	1	1	1	1	0	0	13
6 経理	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	6
7 税金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 資金	0	3	0	0	5	2	1	1	1	1	2	0	16
9 事務所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10 活動拠点	2	0	0	1	0	2	0	1	0	1	1	1	9
11 団体情報	4	5	5	7	2	5	5	4	4	7	5	7	60
12 ボランティア	6	1	2	4	4	1	1	2	4	2	1	1	29
13 たすかるバンク	9	5	3	1	4	4	9	9	4	3	4	8	63
14 その他	9	10	13	6	5	7	3	5	6	7	6	11	88
合計	37	28	30	28	29	30	27	26	25	27	28	35	350

※相談項目別件数のため、相談件数とは異なる。

3) 市民活動団体運営基盤強化に関すること

1. NPOの基盤強化をより一層推進するためのNPOに関する相談会の開催

※3区それぞれの地域の特性を捉えながらNPOの基盤強化を図っていくことを目的とし、南区「ユニコムプラザさがみはら」、緑区「ソレイユさがみ」に相談会場を設け、3区でNPOよろず相談会を開催。

「NPOよろず無料相談会」

相談日：各区 原則、月2回。但し、8月と12月は1回のみ

中央区：さがみはら市民活動サポートセンター 第1木曜、第3火曜

南区：ユニコムプラザさがみはら 第2土曜、第4水曜

緑区：ソレイユさがみ 第1火曜、第3木曜

相談時間：①13:00～、②14:00～、③15:00～ 各40分程度

相談員：主にセンター長、総括責任者が対応

相談内容により、さがみはら市民会議会員、税理士・社労士等に依頼

参加費：無料

相談件数：4月～1月(46日×3コマ=138コマ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サボセン	1	2	1		3	2	2	3	2	1	2	2	21
ユニコム		3	4	2		2	2	3	0	4	4	2	26
ソレイユ	1	1	1		1	1	2	1	2	2	3	1	16
	2	6	6	2	4	5	6	7	4	7	9	5	63

2. NPOの基盤強化に関する講座

※「基礎・会計・労務・報告書の書き方」講座の内、基礎講座を3区で開催

*報告書は「学習機会の提供」を参照

4) 市民活動に役立つ情報の収集・提供に関すること

1. 広報紙「さぼせんナウ」の発行

- ・発行回数：偶数月 4月：67号、6月：68号、8月：69号、10月：70号、12月：71号、2月：72号
- ・発行部数：2,000部
- ・常時配布：約700件（複数枚配布）

サポートセンター登録団体	370団体
市内NPO法人	120団体
市内公共施設	140ヶ所
大学（相模原・町田）	20箇所
たすかるバンク人材登録者	40名
市外中間支援施設等	20ヶ所

- ・随時配布：講座・イベント参加者等

- ・主な内容（団体紹介）は下記の通り

- 第67号 2017年4月15日発行 今、NPOがおもしろい：NPO法人 Wish
- 第68号 2017年6月15日発行 今、NPOがおもしろい：相模原誘導グループ ささの会
- 第69号 2017年8月15日発行 今、NPOがおもしろい：Angat
- 第70号 2017年10月15日発行 今、NPOがおもしろい：相模原市ウォーキング協会
- 第71号 2017年12月15日発行 今、NPOがおもしろい：ピュアサウンズ
- 第72号 2018年2月15日発行 今、NPOがおもしろい：パラボラ相模原



2. ホームページ・メールマガジン・FMさがみ等による情報発信の充実

※Jcomへの情報掲載は、自動配信ではなく画面検索が必要となってしまうため、一般市民には情報取得が難しく、今年度より中止とすることとした。

- ・ホームページ：団体イベント情報 HP 発信件数：251件（4月～2018/3月）
情報別にタイムリーな更新を実施中
- ・メールマガジン情報発信件数：386件（4月～2018/3月）
団体情報発信件数：184件（4月～2018/3月）
配信先アドレス数：438件（年度内500件を目標）

3. タウンニュース「さがみはらの輪」への団体情報掲載

- ・利用団体数：5団体（4月～2018/3月）

4. 「さぼせんナウ」へのチラシ同封サービス

- ・利用団体数：14団体（4～2018/3月）

5. FMさがみ「竹中通義モーニングワイド“市民活動hotリポート”」にて団体紹介

※作年よりNPO法人さがみはら市民会議がスポンサーとなり、FMさがみの「竹中通義モーニングワイド」でサポセン登録団体の活動を紹介する事業を開始。今年で2年目となる。

- ・放送日：毎週火曜日9時5分から5～10分程度
- ・内容：インタビュー形式で市民活動団体の活動紹介を行う
但し、月の第1週目はサポートセンター事業のPRを行う
- ・出演方法：スタジオ若しくは電話で生出演
原則1ヶ月3団体 4月～2018/3月：36団体が出演
- ・選出方法：登録団体の中から分野・活動内容を検討し
サポセンから声かけをする
- ・記録：モーニングワイドのツイッターで竹中氏が団体紹介
トーク内容はインターネットラジオでPCに録音し
ストック、団体にも提供可能



6. サポセン展示コーナーの活用

※「さぼせギャラリー」を設置し、団体の活動紹介の一環としてコーナーを活用してもらう

- ・9月27日～11月4日の期間、写真展を開催
1週間ごとに写真の入替えをおこなう。10月17日大船渡よりご本人来所
テーマ：あなたに伝えたい…そして繋げたい 写真展「がんばっぺし、床屋物語Ⅱ」

大船渡の理容室「ニュー清水」の店主が撮った 130 コマ超の復興の歩み

主 催：大船渡市復興応援活動「有志」

協 力：理容室「ニュー清水」大船渡

・カワラノギクを守る会 写真展示



5) 市民活動の活性化に資する学習機会の提供に関すること

1. 市民活動基盤強化講座

1-1 【NPO 基礎講座】 全 3 回開催

考 察：3 区での開催は 8 年目となり恒例化した。NPO 法人取得のメリット・デメリットを各区 2 団体に、また NPO の会計基本についても東京地方税理士会相模原支部に協力を依頼し、好評を得ている。ただ、今年度は受講者が 3 会場合わせて 17 名と少なく、定員割れの状況となった。法人化への市民意識の変化、日程・場所、事例報告団体等が関係しているのか原因は不明だが、NPO の社会的役割は継続的に伝えていかなければならないと考える。

趣 旨：NPO について知りたい、NPO 法人を立ち上げたいと考えている市民に向け「NPO はじめの一步講座」を開催。開催場所は南区・中央区・緑区の 3 ヶ所とし、各区で活動している 2 法人に、法人申請のきっかけ、取得後のメリット、デメリットなどを紹介頂く。尚、今年度も引き続き東京地方税理士会相模原支部の協力を得て NPO 会計の基本について説明頂く。

講 師：さがみはら市民活動サポートセンター 総括責任者 水澤 弘子

相模原市市民協働推進課 NPO 担当

東京地方税理士会相模原支部

事例報告：各区の NPO 法人 2 団体

参加費：500 円

定 員：各 20 名

第 1 回 NPO 初めの一步講座

日 時：2017 年 4 月 15 日（土）13：30～16：30

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター会議室

事例報告：NPO 法人 鈴蘭学園

NPO 法人 きこり

参加者数：11 名（受講者 8、事例報告者 2、税理士 1）

スタッフ等：4 名

第 2 回 NPO 初めの一步講座

日 時：2017 年 4 月 28 日（金）13：30～16：30

会 場：ユニコムプラザさがみはら

事例報告：NPO 法人 Wish

NPO 法人 車椅子の会サイレントフット

参加者数：7 名（受講者 4、事例報告者 2、税理士 1）

スタッフ等：3 名

第 3 回 NPO 初めの一步講座

日 時：2017 年 5 月 11 日（木）13：30～16：30

会 場：橋本公民館

事例報告：NPO 法人 よもぎ会（桑の実保育園）

NPO 法人 援農さがみはら

参加者数：8 名（受講者 5、事例報告者 2、税理士 1）

スタッフ等：3 名

〈報告〉

●延参加者数：26 名

●参加者の感想：

- ・NPO に関して興味が出てきました。更に勉強して行きたい。
- ・ネットで調べてもよく理解できずにいたが、実際に話を伺いはっきりした。質問もしてみたかったが何を伺ったらよいのかさえ分からない感じで、頭を整理してみようと思う。
- ・団体としての活動はこれから考えていく段階なので、まずは大元となるところからまとめてそれから行動していきたい。大体の流れがわかりとても良かった。



1-2 【NPOの会計講座】 全4回開催

考 察：東京地方税理士会相模原支部の協力による会計講座も4年目となった。今年度は訪問サポートを廃し、共通テキスト使用と個別相談に力を入れ、開催日も土曜日に統一するなど新たな取り組みにチャレンジ。

趣 旨：NPO法人格を取得した団体の会計・税務に関する基盤強化を目的として開催。

今年度は全4回の“土曜”連続講座&個別相談会とし、NPO法人会計の基本から決算書類の作成まで共通テキストを用いトータルで学ぶ。NPO会計事務のレベルアップを図る。

講 師：東京地方税理士会相模原支部の税理士の皆様

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加費：2,000円（全4回、テキスト他資料代込み）

定 員：20名（1団体2名以上での参加推奨）

第1回 会計講座STEP1「NPO法人の会計とは①」、個別相談会

講 師：東京地方税理士会相模原支部 金森洋二氏

日 時：2017年9月16日（土）

講座：14:00～16:00、個別相談：16:00～

参加者数：12名（受講者10団体10名、行政2名）税理士6名
スタッフ等：2名

個別相談：5件（5団体5名）

第2回 会計講座STEP2「NPO法人の会計とは②」、個別相談会

講 師：東京地方税理士会相模原支部 山崎悦子氏

日 時：2017年10月14日（土）

講座：14:00～16:00、個別相談：16:00～

参加者数：12名（受講者10団体10名、行政2名）税理士6名
スタッフ等：2名

個別相談：4件（4団体4名）

第3回 会計講座STEP3「総復習&日々の疑問解決ワークショップ」、個別相談会

講 師：東京地方税理士会相模原支部 本郷順子氏

日 時：2017年12月2日（土）

講座：14:00～16:00、個別相談：16:00～

参加者数：11名（受講者8団体9名、行政2名）税理士4名
スタッフ等：1名

個別相談：1件（1団体1名）

第4回 会計講座STEP4「決算書を作ろう!」、個別相談会

講 師：東京地方税理士会相模原支部 福永裕子氏

日 時：2017年3月24日（土）

講座：14:00～16:00、個別相談：16:00～

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加者数：9名（受講者7団体7名、行政2名）税理士7名
スタッフ等：1名

個別相談：2件（2団体2名）

〈報告〉

●延参加者数：44名

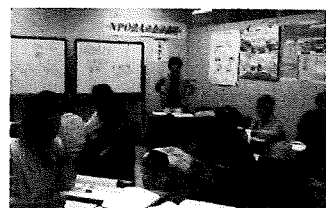
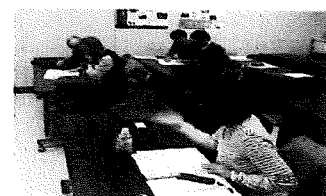
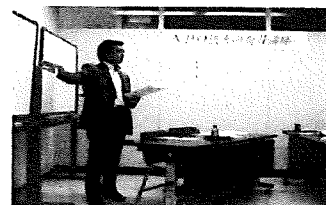
●個別相談数：12件

●参加者の感想：

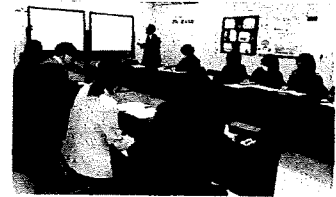
- ・仕訳の仕方がとても分かりやすく、大変勉強になりました。Step2
個別相談することでもでき、大変貴重な機会を与えていただいていると思います。Step2
- ・質問形式の資料がわかりやすく具体的な活動に重ね合わせて考えることができた。Step3
- ・説明資料がいくつもあって追いつかないStep4。
- ・その場でわかったつもりが、時間の経過で分からなくなる。Step4

1-3 【知っておきたい労務の基本】

趣 旨：NPOで安心して働いてもらうための環境整備や雇用者として最低限知っておきたいこと、ボランティアとの契約等、労務の基本について学ぶ。



講 師：特定社会保険労務士 原田恵一氏
日 時：2018年3月6日（火）14:00～16:00
会 場：さがみはら市民活動サポートセンター
参加費：500円
定 員：20名
参加者数：8名（受講者6名、行政：2名）
スタッフ等：2名



〈報告〉

●参加者の感想：

- ・しゃべり方が明瞭で聞きやすく、分かりにくい言葉が出ると説明があつてよかった。また、話し方にテンポがあつて良かった。
- ・「労務の基本」ということだったが、今回は基本にしては少し上級のように感じた。ただ、今のタイミングで必要な情報を知ることができて良かったと思う。
- ・ボランティアに対する考え方が分かった。もう少し、長い時間の講義でもよいと思います。

1-4【伝わる！事業報告書の書き方】

趣 旨：事業報告書は総会時はもちろん支援者や寄付を増やしたいときにも活用できる。読み手に伝わる書き方とそのコツを学ぶ。

講 師：相模原市市民協働推進課 職員
日 時：2018年3月14日（水）14:00～16:00
会 場：さがみはら市民活動サポートセンター
参加費：500円
定 員：20名
参加者数：9名（受講者7名、行政：2名）
スタッフ等：1名



〈報告〉

●参加者の感想：

- ・分かりやすい説明で、報告書の新たな書き方が分かりました。各々のNPOにアドバイスを頂けたのはありがたかったです。
- ・詳細な説明でよく分かり参考になりました。写真・グラフの効用はよく認識していますが、苦手意識があります。来年度は何とか挑戦してみたいと思います。

2. 市民活動活性化講座

2-1【助成金申請のポイント】

考 察：前年の『助成金申請のポイント』は定員を上回る申し込みがあつたため、今年度は中央区・南区・緑区の3ヶ所で開催したが、全体的に受講者は少なめだった。因みに、昨年の受講者数は23名であつたが今回は総数16名だった。今後は、積極的に広報活動を行うと共に、寄付についても情報提供していくことを検討したい。

趣 旨：NPOにとって最大の悩みは「資金」。今回はNPOの活動資金の一つである「助成金」と「寄付」について学ぶ。助成金の種類・申請時期などに加え、申請時の注意点や審査のポイント等についても情報提供を行う。また、今回は「クラウドファンディング」についても活用団体をゲストに迎え、基本情報を提供いただく。かながわボランティア活動推進基金21、日本政策金融公庫のNPO応援融資制度についての紹介も行う。今年度は、南区、緑区でも同様の講座を開講。

講 師：さがみはら市民活動サポートセンター 総括責任者 水澤 弘子

第1回 助成金申請のポイント 南区

日 時：2017年5月29日（月）13:30～16:00
会 場：ユニコムプラザさがみはら マルチスペース
情報提供：NPO法人 spitzen performance
日本政策金融公庫 厚木支店
参加費：500円
参加者数：6名（受講者4名、協力者2名）
スタッフ等：2名



第2回 助成金申請のポイント 中央区

日 時：2017年6月9日（金）13：30～16：00

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

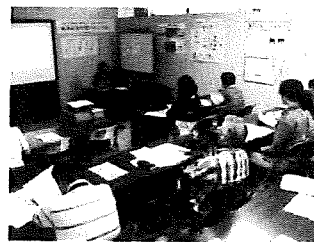
情報提供：神奈川県ボランティア活動推進基金 21

日本政策金融公庫 厚木支店

参加費：500 円

参加者数：11 名（受講者 8 名、協力者 3 名）

スタッフ等：3 名



第3回 助成金申請のポイント 緑区

日 時：2017年6月19日（月）13：30～16：00

会 場：緑区合同庁舎 2 階 会議室 2-1

情報提供：NPO 法人 spitzen performance

日本政策金融公庫 厚木支店

参加費：500 円

参加者数：6 名（受講者 4 名、協力者 2 名）

スタッフ等：2 名



〈報告〉

●参加者の感想：

- ・団体立ち上げに基盤となる資金面は重要であり、計画性について改めて考える良い機会の講義でした。
- ・クラウドファンディングについてももう少し聞きたかったです。個別で来て聞いてみたいと思います。サポセンにはいろいろお世話になりっぱなしです。感謝です。
- ・よその同様の講座では、「助成金とは何か」が理解できていることが前提となっているものが多く、素人の当方にとっては難しかった。しかし、今回の講座では「助成金とは何か」という点からお話していただいたので、とても分かりやすかったです。
- ・今後サポセンのお役立ち情報を必ず見るようにします。今まで福祉車両購入の為、助成金申請をしてきましたが、イベント等（リフレッシュ）にも助成金申請ができるのではないかと思います。

2-2【NPO の広報スキルアップ講座】 全 2 回開催（予定）

趣 旨：リーフレットは協力者や寄付者を募る時、活動を端的に伝える情報発信ツールの一つである。しかしリーフレットを持っている団体は意外に少ない。そこで本講座では長年広告の世界で活躍してきた専門家のアドバイスをいただきながら、伝えたい多くの情報を整理してデザインする「リーフレット作り」にトライします。2 回連続で開催。

参加費：1000 円（2 回分）

定 員：各 20 名

第1回

日 時：2018 年 1 月 30 日（火） 13：30～15：30

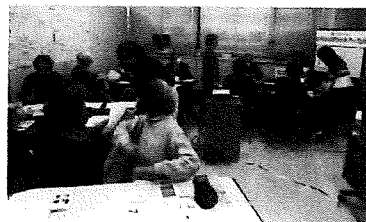
会 場：さがみはら市民活動サポートセンター会議室

講 師：カクトルデザイン aZ 代表 大淵優子 氏

NPO 法人エンツリー 理事長 吉田恭子 氏

参加者数：21 名（受講者 19 名、行政 2 名）

スタッフ等：1 名



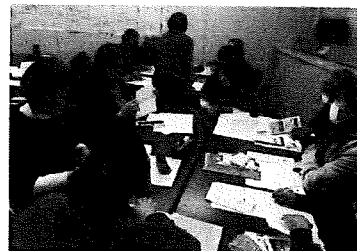
第2回

日 時：2018 年 2 月 6 日（火）13：30～15：30

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター会議室

参加者数：17 名（受講者 15 名、行政 2 名）

スタッフ等：1 名



〈報告〉

●延参加者数：38 名

●参加者の感想：

- ・リーフレットの作成意義が良くわかった。講座を聞きながら少しアイデアが浮かびました。
- ・リーフレットを見比べて検討することは、具体的でわかりやすかった。
- ・実際にパソコンでできるまでの講座を設けて頂けるとありがたいです。リーフレットの配置やデザインなど、とても参考になりました。

6) 市民活動団体の交流機会の提供に関すること

1. ミニミニ利用懇の開催 「NPO ほっとカフェ」

趣 旨：サポートセンターの登録団体同士の交流を促進し、団体間の新たな連携のきっかけ作りとなること、また、情報交換や連携による各団体の活動の活性化を目的に、気軽に参加できるカフェ形式での交流会を今年度も計4回程度、奇数月開催する。

第1回 ～子どもの支援～

趣 旨：昨年度2回開催し大きな反響があった「子どもの支援」をテーマとする。子ども食堂や学習支援など、市内でも様々な団体の取り組みが本格化しており、活動を実際に行う団体のみでなく、そうした活動を支援したい団体や企業にも参加を呼びかけ、本事業が新たな連携のきっかけとなり、さらなる活動の活性化を目指すものとする。

日 時：2017年7月12日（水）15：00～17：00

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加費：200円

参加者人数：28名 スタッフ等：3名

協 力：社会福祉協議会

内 容：参加者自己紹介：名前と所属、取り組み内容等を発表

情報提供：相模原市社会福祉協議会 歌丸氏より

「子どもの支援に対する助成制度」について情報提供

WS：課題抽出、情報・意見交換

フリートーク&名刺交換タイム

参加者の感想：

- ・つながりが出来て良かったです。今後、ネットワーク作りに発展できればと思います。機会を作っていただき、ありがとうございました。
- ・子ども食堂の実態を知りたくて参加しました。飛び入りでしたが、たくさんの情報を得ることが出来ました。
- ・また新しいつながりが出来たと思います。
- ・色々なお話（問題点もですが）が聞けて良かったです。何より多くの方が地域の子どものために動いていてその輪が広がっている事がわかりました。つながりが出来て良かったです。

第2回 ～どうする？どうなる？ボランティアバスツアー～

趣 旨：昨今、NPO やボランティア団体、自治体等が行うボランティアバスツアーやスタディツアー等のプログラムが旅行業法違反として中止されるケースが発生している。そうした状況を踏まえ、今回、被災地支援等の団体に対し、関連する最新情報の提供と共に、各団体の今後の活動に対する情報共有を行う場を設けるものとする

日 時：2017年9月29日（金）15：00～17：00

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加費：200円

参加者人数：9名 スタッフ等：4名

協 力：相模原市社会福祉協議会 渡邊氏

（株）北相トラベル 野田氏

参加者の感想：

- ・今の時期にあった適切なテーマであると思います。会に持ち帰って担当者に話をしてみます。
- ・何をどう進めて良いか全くわかりませんでしたが、今回の集まりで次にどう動けばよいのかがわかりました。企画してくださり助かりました。
- ・とてもグレーな部分なので少しでも理解できてよかったです。

第3回 ～ご近助はだれだ？！～

趣 旨：利用者懇談会に於いて「たすかるバンク」の人事登録者とマッチング事例の紹介を行う。お互いが知りあうことにより、今後のバンク活用の促進を図るものとする。

日 時：2018年2月25日（日）14：00～17：00

会 場：けやき会館 2階 大研修室

参加費：無し

参加者人数：利用者懇談会参照

協 力：たすかるバンク人材登録者の皆様

参加者の感想：利用者懇談会参照



第4回 ～広げよう、スポーツ支援～

趣 旨：スポーツ系の団体から活動場所についての相談が増えている。関連団体に声掛けし
課題の共有や解決方法など情報交換できる機会を提供する。

日 時：2018年3月23日（金）14：00～17：00

会 場：さがみはら市民活動サポートセンター オープンスペース

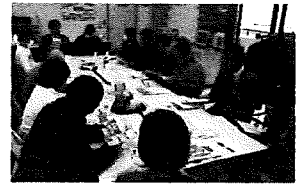
参加費：200 円

参加者人数：9 名

協 力： まち・みどり公社、生涯学習部スポーツ課、相模原市体育協会

参加者の感想

- ・共通の内容で共有できた事、様々な情報を得ることが出来たことが良かったです。
 - ・団体の方が抱えている悩みや施設に対するご意見などを知ることができ、貴重なお時間をいただいたと感じています。
 - ・いろいろ活動している団体さんの話が聞くことができて良かった。
- スポーツボランティアの登録制度ができるといいかな。情報交換の必要性を感じた。



2. 利用者懇談会&交流会の開催

趣旨：年に一度、登録団体が一堂に会し、センターの事業を報告すると共に、
其々の団体の活動をお互いに紹介し合い、交流を深める機会とする。

※地域づくり大学終了後の活動受け皿としてOB2名にも参加いただいた。

日時：2018年2月25日（日）14：00～19：00

会場：利用者懇談会：けやき会館 2F 大研修室 14：00～17：00

交流会：市民会館 2F 第2 大会議室 17：30～19：00

内容：①2017 年度 サポートセンター事業報告

②団体パネル人気投票

③情報交換ワークショップ

・たすかるバンク 仕組み・実績紹介&人材・事例紹介

・団体交流ワールドカフェ

④事務連絡（・ロッカー、レターケース利用団体発表等）

⑤交流会

参加費：交流会のみ 1500 円（飲食代として）

参加人数：利用者懇談会 101 名（+行政4名、スタッフ8名）

団体数 75 団体、92 名

交流会 74 名（+行政6名、スタッフ10名）

団体数 37 団体、63 名

感想：・人材登録者への依頼は思っていたよりも簡単なことをお願い
できることが分かった。

・たすかるバンクのことがよく分かった。

・マッチング事例報告、資料が分かりやすかった。

・多くの団体と交流することができて良かった。



3. 市民活動フェアの実施

① 第43回 相模原市民桜まつり

趣 旨：「相模原市民桜まつり」にブースを出展し、広く市民にアンケートを実施することにより、市民活動やサポートセンターの役割を周知し、関心をもってもらう機会とする。

アンケートの方法は今年度より「あなたの身近で気になる事」を幾つか項目を挙げ、ボードにシールを貼ってもらう形とした。日曜日一日のみの参加。

日 時：2017年4月2日（日）10時～16時

場 所：市役所前通り ロイヤルホスト前

内 容：子ども向けゲーム「輪投げであそぼ」

保護者にサポセンリーフレット配布とアンケートを実施

アンケート集計：704 件 （昨年より 58%アップ）



② NPO 発表会 in イオン

趣 旨：市民活動をより多くの市民に周知するため、企業（イオン相模原店）から場所の提供と広報の協力を頂きパフォーマンスや体験ブースの出展を行う。

室内での開催を希望する団体が参加

日 時：2017 年 9 月 10 日（日）11：00～16：00

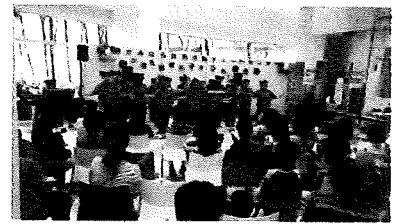
場 所：イオン相模原店 パブリックスペース

内 容：パフォーマンス（7 団体）&体験ブース（7 者）

参加者：サボセン登録団体 8 団体、たすかるバンク登録者 3 名
近隣中・高校 2 校（共和中学校、麻溝台高校）

協力者：司会、音響、ビデオ撮影（たすかるバンク登録者）

考 察：今年度はイオンの担当者が変わったため、これまでのようにスムーズな運営が行えなかった。次年度は同時期に PC リユースプログラムの寄贈式があるため、開催には検討が必要と思われる。



③パネル展示会

考 察：今年度より施設間の連携を念頭に置いて、南区：ユニコムプラザさがみはら、緑区：ソレイユさがみに於いてもパネル展示会を開催することとし、積極的に団体にパネル作成の声掛けを行った。その結果、パネル作成団体 55 団体中、新規作成団体が 7 団体となった。また、団体への問い合わせも数件あった。

・あじさい会館 1 階ロビー〔中央区〕

展示期間：2017 年 8 月 22 日（火）～8 月 30 日（水）

・相模原市役所 市役所本庁舎 1 階〔中央区〕

展示期間：2017 年 9 月 19 日（火）～9 月 29 日（金）

・ユニコムプラザさがみはら ロビー 2〔南区〕

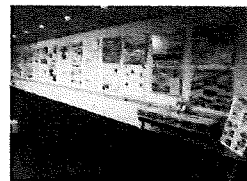
展示期間：2017 年 10 月 17 日（火）～10 月 29 日（日）

・ソレイユさがみ であいの広場〔緑区〕

展示期間：2017 年 11 月 4 日（土）～11 月 16 日（木）

・あじさい会館ロイヤルホスト側ロビー

常設 3 枚のパネルを定期的に交換



4. さがみはら市民活動フェスタ 2017 の実施

趣 旨：相模原市内の市民活動団体の活動を広く市民に紹介すると共に、団体間の相互理解、多様なセクターとの連携を図り、資金調達の場とする。

日 時：2017 年 11 月 12 日（日）午前 9 時 30 分～午後 3 時

場 所：淵野辺公園銀河アリーナ前

内 容：農業まつり、親子ふれあいフェスタと同時開催
アトラクション、模擬店、スタンプラリー

参加者：ブース出展：26 団体、パフォーマンス参加：8 団体、
スタンプラリー：約 150 人

考 察：当日は昨年同様天候に恵まれ各ブースとも大変な賑わいであった。今年度は登録団体以外に桜美林大学のブース出展もありセクター間の連携に新たな一歩が踏み出せた。また、昨年の反省から各ブースに団体名と活動分野を表したパネルを掲示して来場者へのアピールを強化した。



5. 市民活動団体と大学との交流機会の促進

・さがまちコンソーシアムインターンシップ受入（担当：江藤）

参加者：4 名

期 間：6 月～12 月 8 回以上

内 容：サポセン各種イベントに参加
企業・NPO・大学のパートナーシップミーティングでは
2名の学生が総合司会を務める。

・行政インターンシップ受入

参加者：1名（麻布大学）

期 間：8月

内 容：ボラチャレ受入先「WE21 ジャパン」取材

・昭和女子大学インターンシップ受入

参加者：1名

期 間：6月～7月

内 容：キッズタウンゆめみはらに参加



7) その他センターの運営に関すること（ネットワーク事業など）

1. 相模ボラディア〔相模原市市民活動中間支援施設連絡会〕（市民活動支援 施設との連携）

サポートセンター、ボランティアセンター、国際交流ラウンジの3施設が連絡協議会を設置し、ネットワークを強化。青少年学習センターがオブザーバーとして参加。

①月1回協議会を開催し情報交換

②相談業務の連携

③3施設の登録団体情報をHPで共有（団体検索システム）

④「相模ボラディア」のリーフレットを作成

⑤協働事業の企画と実施

・「夏休み、中・高校生ボランティア チャレンジスクール」開催

日時：7月22日（土）9：30～12：00 オリエンテーション

7月23日（日）～8月17日（木）体験期間

8月18日（金）9：30～11：30 まとめの会

申込者：65名

修了者：61名

受入団体数：4分野11団体

内 容：ボランティア説明会、体験、ボランティア報告会

結 果：ボランティア報告書「わくわく どきどき体験記」発行

・「パネル展示会」開催9月1日（金）～9月15日（金）15日間



2. 地域ボランティアエアポート

趣旨：身近な地域での高校生のボランティア活動を応援するため、県教育委員会では、高校生のボランティア活動を生活している地域において支援する拠点として、県内20か所の市民活動センター等を「地域ボランティアエアポート」として位置付け、「高校生のためのボランティア応援コース」と称した夏休みボランティア講座を開催。

※相模原でも同様のイベント「夏休みボランティアチャレンジスクール」を開催しているため今年度は不参加とした。

3. たすかるバンク

市内で公益的な活動をしている市民団体と社会貢献したい市民をつなぎ、市民活動の更なる活性化を目指すためのニーズ及び人材ネットワークシステム

・ニーズ登録、人材登録データの更新を行う（更新済み）

・登録状況：人材登録 6件

ニーズ登録 57件

マッチング 50件（4月～2018/3月）

※ニーズによっては人材以外に団体を紹介する場合もあるのでマッチング率はより高くなる。

4. 第14回 かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム

趣 旨：市民活動団体の情報発信力UPを応援！！

情報化や組織の基盤強化に力を入れて取り組みたいと考えている団体に、企業提供のリユースPCを寄贈する。

このプログラムは、認定NPO法人イーパーツと県内10のNPO支援センター（藤沢、茅ヶ崎、小田原、大和、座間、平塚、綾瀬、相模原、鎌倉、逗子）の共催で実施する。

日 時：募集期間 4月10日（月）～6月30日（金）

審査会 7月18日（火）13：00～17：00 藤沢市市民活動推進センターにて

寄贈式 8月26日（土）14：00～17：00 茅ヶ崎市役所本庁舎4Fにて

（持ち回り開催、次回は相模原）

内 容：各センターで応募団体とりまとめ、審査会にて書類審査のうえ寄贈団体決定、寄贈式、報告

応募団体：7団体

寄贈団体：6団体（1団体辞退）

寄贈台数：9台



5. さぼせんキッズタウンゆめみはら

考 察：今年度も参加者募集チラシを市内小学校全校に配布。その結果、南区310名、中央区263名、緑区168名、その他2名、計743名の応募があり、昨年にも増して本事業への関心の高さが伺えた。また、キッズタウンに関する問い合わせは、センターHPの「前年度報告書」を案内した結果、ビジター数が通常月より大幅にアップし、行政、企業の新規参加団体も増加した。これまで、市民活動団や企業の大人たちにとって、子どもたちの自主性を尊重しどう関わるかが大きな課題であったが、今年が4回目ということもあり大人と子どもが相互に学び合う関係性が生れ、世代間の交流が進んだように思われる。

趣 旨：次世代育成と多様なセクター間の交流を目指し、子どもと大人が一緒に考えてつくる仮想のまち「さぼせんキッズタウン」を開催。本事業は未来を担う子どもたちの自主性・コミュニケーション能力を育てると共に、市民活動団体、企業、自治会、行政などがどのように協力し合ってまちづくりを行っているのかを知り、社会の仕組みや市民活動の重要性を、楽しみながら学んでいく。

日 時：2017年7月30日（日） 10：00～16：00

場 所：けやき会館2階 大研修室、中研修室

〃 3階 セミナールーム1、2、

さがみはら市民活動サポートセンター

内 容：準備段階から子どもたちがキッズスタッフとして企画会議に参画しながら、市民活動団体、企業、公共施設等が出展するブースで形成される仮想のまち「キッズタウンゆめみはら」で、子どもたちが働き、遊び、学び、買物をします。

参加者：子ども 参加者	164名	
キッズスタッフ	29名	193名
保護者&一般見学者		68名
ブース出展者（団体・企業27者）	59名	
大学生インターンシップ	5名	
実行委員・行政・SCスタッフ	26名	90名
合 計		351名



6. 企業×NPO×大学のパートナーシップミーティング in 相模原 《市民会議事業》

※神奈川県とNPO法人さがみはら市民会議が協働事業として実施し、相模原市・さがみはら市民活動サポートセンターが協力。今年度からユニコムプラザさがみはらに協力者として加わってもらう。

趣 旨：地域の課題を継続的に解決していく一助として、企業・NPO・大学を仲介し、連携の機会を提供する。

日 時：2017年10月23日（月） 13：00～17：00

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1



内 容：基調講演：相陽建設（株）代表取締役 古橋裕一 氏
「会社は社会の公器～地域から必要とされる会社を目指して～」
つながり体験談：リレー方式によるマッチング体験談の報告
つながろう会：ワールドカフェ形式で「提供できること」、
「提供してほしいこと」を出し合マッチングの可能性を探る。

対 象：マッチングに興味ある企業・NPO・大学の関係者

定 員：70名

参加者：89名（NPO：59名、企業：22名、大学：7名、行政1名）

事務局・スタッフ：19名、オブザーバー（県）：2名、

総数：110名

考 察：・本事業は今年で4年目になるが、神奈川県とサポートセンターそれぞれが持っている企業や大学、団体の情報をフルに活用し参加者に声掛けすることができた。また今回は、大学生のインターンシップ、地域づくり大学受講者 OB に加え、会場提供者のユニコムプラザ職員がスタッフとして参加した。

・「つながり体験談」ではできるだけ多くの事例を紹介し、参加者のマッチング意識を高めることに努めた。そのせいか、「つながろう会」では、それぞれが意欲的に連携の糸口を見つけようとする姿勢が見受けられ、交流会では最後まで多くの方が名刺交換を行っていた。



成果報告会

日 時：2018年3月1日（木）14：00～17：00

場 所：県民センター コミュニティカレッジ講義室

内 容：県内のマッチング事例報告等

8) その他

1. 人材育成に関すること

スタッフ研修の強化

※OJT（オンザジョブトレーニング）方式で、実際の業務を行なう中で必要な知識や技能を身につけてもらうことが基本だが、現スタッフは各自担当業務に関わらず前向きに取り組んでいる。

【外部研修】

- ・「NPO支援センター・行政職員初任者研修」（新スタッフ添田・渡邊2名が参加）

日 時：7月3日（月）13：30～17：00

会 場：かながわ県民センター11階 コミュニティカレッジ講義室2

主 催：神奈川県民活動サポートセンター

テーマ：改めて考えよう～地域における市民活動サポートセンターの役割～

- ・「NPOと行政の対話フォーラム '17」（水澤）

日 時：7月14日（金）10：15～17：00

会 場：神奈川県民活動サポートセンター

主 催：日本NPOセンター

テーマ：市民社会とコミュニティ ～出会いと共振による地域づくり～

- ・「NPO法人・一般社団・財団法人のための半日セミナー」（鈴木）

日 時：12月8日（金）

会 場：かながわ県民センター 711会議室

主 催：一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ

テーマ：団体の運営状況を自己診断しよう

【内部研修】

趣旨：スタッフのスキルアップを目的とし、月1回の休館日に内部研修を行い、センター業務や市民活動に関する基礎知識について勉強会を開催する。

4月：NPO法人 さがみはら市民会議の活動紹介（西本）

5月：市役所 市民協働推進課の業務について（大村）

6月：相模原市社会福祉協議会ボランティアセンターの業務について（渡辺）

7月：キッズタウンの概要と役割分担について

8月：キッズタウン反省会

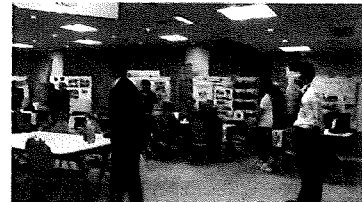
9月：青少年学習センターの業務について（町野）

10月：市民活動フェスタの概要と役割分担について

- 11月：中止
- 12月：スタッフ・さがみはら市民会議・市民協働推進課交流会
- 1月：産業振興財団の業務について（木下）大雪のため中止
- 2月：利用者懇談会の概要と役割分担について
- 3月：桜祭り役割確認、新スタッフとの顔合わせ

2. 外部イベントへの参加

- ・ユニコムまちづくりフェスタ（鈴木・水澤）
 - 日時：10月15日（日）
 - 会場：ユニコムプラザさがみはら
 - 内容：釣りゲーム&シールアンケート
- ・緑区地域デビュープロジェクト事業
 - ※実行委員会の構成メンバーとして水澤・鈴木が参加
 - テーマ：緑区絆づくり交流会 ～つなげよう子育ての輪～
 - 日時：2018年2月3日（土）13:00～16:00
 - 会場：杜のホールはしもと 多目的室
 - 内容：釣りゲーム&シールアンケート（案）
 - 主催：緑区役所区政策課
- ・シニアの地域活動マッチング相談会（鈴木・水澤）
 - 日時：2018年3月17日（土）13:30～16:00
 - 会場：相模原市民会館 3階 第1大会議室
 - 内容：市民活動団体紹介
 - 主催：相模原市役所 地域包括ケア推進課



3. 外部からの協力依頼

【講演等】

- ・青山学院大学社会情報学部 プロジェクト演習入門Ⅱ
 - 担当：相模原市農政課 渡辺誠治氏（客員准教授）
 - 相模原市産業政策課 廣田氏
 - 5月31日（水）「市民活動サポートセンターの役割」講演（水澤）
 - 10月31日（火）プロジェクト演習 中間発表会 コメンテーター（水澤）
 - 12月19日（火）" ファイナルプレゼンテーション（水澤・岩本）
- ・「ボランティア活動施策推進会議支援施設分科会スタッフセミナー」講師（水澤）
 - 主催：かながわ県民活動サポートセンター
 - 日時：7月3日（月）13:30～17:00
 - 会場：かながわ県民センター11階 コミュニティカレッジ講義室2
 - 内容：改めて考えよう～地域における市民活動サポートセンターの役割～
- ・「介護予防サポーター ステップアップ講座」講師（水澤）
 - 主催：相模原市 地域包括ケア推進課
 - 日時：10月10日（土）15:00～16:00
 - 会場：ウェルネスさがみはら3階 集団指導室
 - 内容：さがみはら市民活動サポートセンターの紹介
- ・「地域づくり大学講座」講師（水澤）
 - 主催・会場：ユニコムプラザさがみはら
 - 日時：10月4日（水）15:00～16:30
 - テーマ：「協働の考え方とさまざまな協働のかたち」
- ・「地域づくり大学講座」講師（山本満・水澤）
 - 主催・会場：ユニコムプラザさがみはら
 - 日時：11月15日（水）15:00～16:30
 - テーマ：組織運営の実際 ～思いを形にする～

【委員等】

- ・神奈川県
 - 指定特定非営利活動法人審査会 委員（水澤）
 - かながわ人生100歳時代ネットワーク会議ワーキング部会（政策局政策部総合政策課）（水澤）

- ・大和市
 - 大和市協働推進会議 委員 (水澤)
 - 大和市市民活動推進補助金 市民活動アドバイザー (鈴木)
- ・平塚市
 - 平塚市協働事業審査会 委員 (水澤)
 - ひらつか市民活動ファンド 運営委員 (鈴木)
- ・相模原市
 - さがみはら地域づくり大学運営委員 (水澤)
 - 協働マニュアル検討ワーキングメンバー (水澤)

4. 外部からの視察等

- ・町田市市民部市民協働推進課 4名
 - 日時：8月10日(木) 14:00～16:00
- ・公益財団法人かわさき市民活動センター 3名
 - 日時：8月29日(火) 13:30～15:00
- ・小平市民活動支援センター、地域振興部市民協働・男女参画推進課 7名
 - 日時：10月5日(木) 10:00～12:00

以上

2017(平成29)年度 活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人さがみはら市民会議

(単位:円)

科 目			予 算	決算	差 額	
I 経常収益	1 受取会費	正会員受取会費	78,000	69,000	9,000	
		賛助会員受取会費	15,000	0	15,000	
	2 受取寄附金		40,000	19,761	20,239	
	3 受取助成金		0	0	0	
	4 事業収益	サポートセンター事業収益	26,658,000	26,658,000	0	
		機器使用料収益	1,150,000	1,025,291	124,709	
		広告収益	200,000	129,600	70,400	
		参加費収益	90,000	154,400	-64,400	
		事務支援サービス収益	60,000	48,890	11,110	
		その他事業受託収益	360,000	311,396	48,604	
5 その他収益	受取利息	100	94	6		
	雑収益	210,000	121,293	88,707		
経常収益合計			28,861,100	28,537,725	323,375	
II 経常費用	1 事業費	(1) 人件費	給料手当	14,528,000	14,704,436	-176,436
			法定福利費	100,000	152,986	-52,986
			人件費計	14,628,000	14,857,422	-229,422
		(2) その他経費	会場費	65,000	68,333	-3,333
			旅費交通費	320,000	276,500	43,500
			印刷費	30,000	37,920	-7,920
			消耗品費	1,080,000	1,065,126	14,874
			通信費	270,000	226,097	43,903
			講師謝礼費	330,000	384,314	-54,314
			広告宣伝費	760,000	653,791	106,209
			委託費	240,000	233,280	6,720
			研修費	220,000	163,760	56,240
			会議費	175,000	170,100	4,900
			機器使用料	625,000	622,857	2,143
			租税	1,100,000	1,053,700	46,300
			賃借料	8,002,296	8,002,296	0
			雑費	250,753	262,066	-11,313
		その他経費計	13,468,049	13,220,140	247,909	
	事業費計		28,096,049	28,077,562	18,487	
	2 管理費	(1) 人件費	給料手当	0	0	0
			法定福利費	0	0	0
			人件費計	0	0	0
		(2) その他経費	会場費	30,000	0	30,000
			消耗品費	10,000	0	10,000
			通信費	15,000	0	15,000
			租税公課	1,000	0	1,000
			支払手数料	26,000	24,421	1,579
			渉外費	110,000	87,112	22,888
管理費計			192,000	111,533	80,467	
経常費用計		28,288,049	28,189,095	98,954		
当期経常増減額			573,051	348,630	224,421	
III 経常外収益		0	0	0		
経常外収益計		0	0	0		
IV 経常外費用		0	0	0		
経常外費用計		0	0	0		
税引前当期正味財産増減額			573,051	348,630	224,421	
法人税、住民税及び事業税			70,000	167,200	-97,200	
当期正味財産増減額			503,051	181,430	321,621	
前期繰越正味財産額			2,680,719	2,746,614	-65,895	
次期繰越正味財産額			3,183,770	2,928,044	255,726	

財産目録 (平成30年3月31日現在)

法人の名称 特定非営利活動法人さがみはら市民会議
(単位:円)

勘 定 科 目		金 額
1. 資産の部		
1) 流動資産		
普通預金	横浜銀行 相模原駅前支店 1711768	718,024
	横浜銀行 相模原駅前支店 1726176	2,457,242
	駿河銀行 相模原支店 1235375	1,972,724
未収入金	コピー代	89,695
[流動資産合計]		5,237,685
2) 固定資産		0
[固定資産合計]		0
【資産の部合計】		5,237,685
2. 負債の部		
1) 流動負債		
未払金		1,622,741
	内訳 委託費 (税理士報酬)	233,280
	上記振込手数料	864
	会議交通費 (理事会・運営会議)	41,500
	人件費	1,338,889
	フレッツ光 (3月分)	8,208
仮受金	誤入金処理	10,000
未払法人税		167,200
未払消費税		509,700
[流動負債合計]		2,309,641
2) 固定負債		0
[固定負債合計]		0
【負債の部合計】		2,309,641
3. 正味財産		2,928,044

貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

法人の名称 特定非営利活動法人さがみはら市民会議
(単位:円)

勘 定 科 目	金 額	
1. 資産の部		
普通預金	5,147,990	
(流動性現預金)		5,147,990
〔現金及び預金〕		5,147,990
〔当座資産〕		5,147,990
未収入金	89,695	
〔流動資産〕		5,237,685
【資産の部合計】		5,237,685
2. 負債の部		
未払金	1,622,741	
仮受金	10,000	
未払法人税等	167,200	
未払消費税	509,700	
〔流動負債〕		2,309,641
【負債の部合計】		2,309,641
3. 正味財産の部		
正味財産	2,928,044	
(うち当期正味財産増加額)	181,430	
〔正味財産〕		2,928,044
【正味財産の部合計】		2,928,044
【負債及び資本の部】		5,237,685